

国際会議への派遣支援経費報告書

派遣者： メディア文化論 講師 坂田邦子

派遣地： チュラロンコン大学マスコミュニケーション学部（タイ、バンコク）

日程： 2006 年 2 月 6 日（月） - 12 日（日）

2 月 6 日（月）日本 - タイ

7 日（火）オリエンテーション、チュラロンコン大学見学

8 日（水）映像制作実践 / スタッフ・ミーティング

9 日（木）スクリーニング・ワークショップ

10 日（金）カンタナ・グループ（タイの大手メディア企業）視察

11 日（土）タイ - 日本（12 日（日）早朝成田着）

目的： d'CATCH プロジェクト 2005 年度ワークショップに参加

内容： 2003 年度に始まり、今年で 3 年目になる d'CATCH (deCentralized Asian Transnational Challenges) プロジェクトの年度末のワークショップ。このプロジェクトは派遣者らが中心となって始めた、メディアリテラシーと異文化理解に関する国際共同研究プロジェクトで、今年度は、タイのチュラロンコン大学、フィリピンのサントトマス大学、日本の神田外語大学が実践校として参加した。ワークショップでは、特定のテーマ（今年度は「What is “Asia” for you?」）に基づいて各国の学生がすでに制作した映像を持ち寄り、3 ヶ国の映像を一つの番組にするためにグループに分かれて共同制作を行う。スクリーニング・ワークショップでは、完成した番組の上映会とともに、プレゼンテーション、ディスカッションを通じて、アジアとは何か、メディアと異なる文化、イメージの関係等について、研究者と学生が共に語りあった。制作実践とワークショップを通じて、学生らは国によって文化によってメディア表現の方法が異なったり、背景や知識が異なるとメッセージが不明瞭になったり誤解が生じたりすることを学んだ。また、学生の活動を通じて、対話や交渉という方法によってメディアにおける多様な文化や価値観が共生できる可能性と問題点が明らかになった。